

令和7年度第2回鳴沢村地域公共交通会議 次第

と き：令和8年1月6日（火）午後4：30

ところ：保健センター2階

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 地域公共交通計画策定について

- ・ 鳴沢村地域公共交通計画策定の進め方 【資料1】
- ・ 鳴沢村地域公共交通を取り巻く現状 【資料2】
- ・ 鳴沢村地域公共交通における課題・方向性（想定案） 【資料3】
- ・ 各種アンケート調査の実施について 【資料4】

4. その他

5. 閉会

# 鳴沢村地域公共交通計画策定の進め方

---

## [目次]

1. 地域公共交通計画の概要.....	1
2. 鳴沢村地域公共交通計画の策定方針.....	2
3. 策定フロー .....	3
4. 策定スケジュール .....	4

---

# 1. 地域公共交通計画の概要

## 1-1 地域公共交通計画とは

地域公共交通計画は、バス・タクシーなどの「地域の足」を、将来にわたって便利で持続可能なものにしていくためのマスタープランであり、国の法律（地域公共交通法）に基づく計画です。目指す将来像を示し、その実現に向けて、各関係者が実施する取組を整理するものです。

### <地域公共交通計画に記載する事項>

計画の区域、計画期間

基本的な方針

計画の目標

目標達成のために行う事業および実施主体

計画の達成状況の評価に関する事項

その他、計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

## 1-2 鳴沢村地域公共計画の構成（案）

現時点における鳴沢村地域公共計画の構成案は下記のとおりです。本編は鳴沢村の地域公共交通が目指す方向性や取り組みを端的に記載します。それらの根拠となるデータは、資料編に掲載します。それによって、分かりやすい計画書となることを目指します。

【第1章】 計画の概要	1-1 計画策定の目的・背景 1-2 計画の位置付け 1-3 計画対象 1-4 計画期間
【第2章】 地域公共交通を取り巻く 現状と課題	課題① ●●の確保 :
【第3章】 基本方針と計画目標	3-1 基本方針 3-2 計画目標 3-3 目指す将来像
【第4章】 計画目標達成に向けた 施策および事業	4-1 施策および事業の体系図 4-2 施策①にかかる事業 4-3 施策②にかかる事業 :
【第5章】 計画の推進体制	5-1 推進体制 5-2 進捗管理手法 5-3 評価指標
資料編	各種データ(現状分析データ、各種調査結果の概要) 地域公共交通会議の開催概要、委員構成 評価指標の算出根拠、用語解説 など

## 2. 鳴沢村地域公共交通計画の策定方針

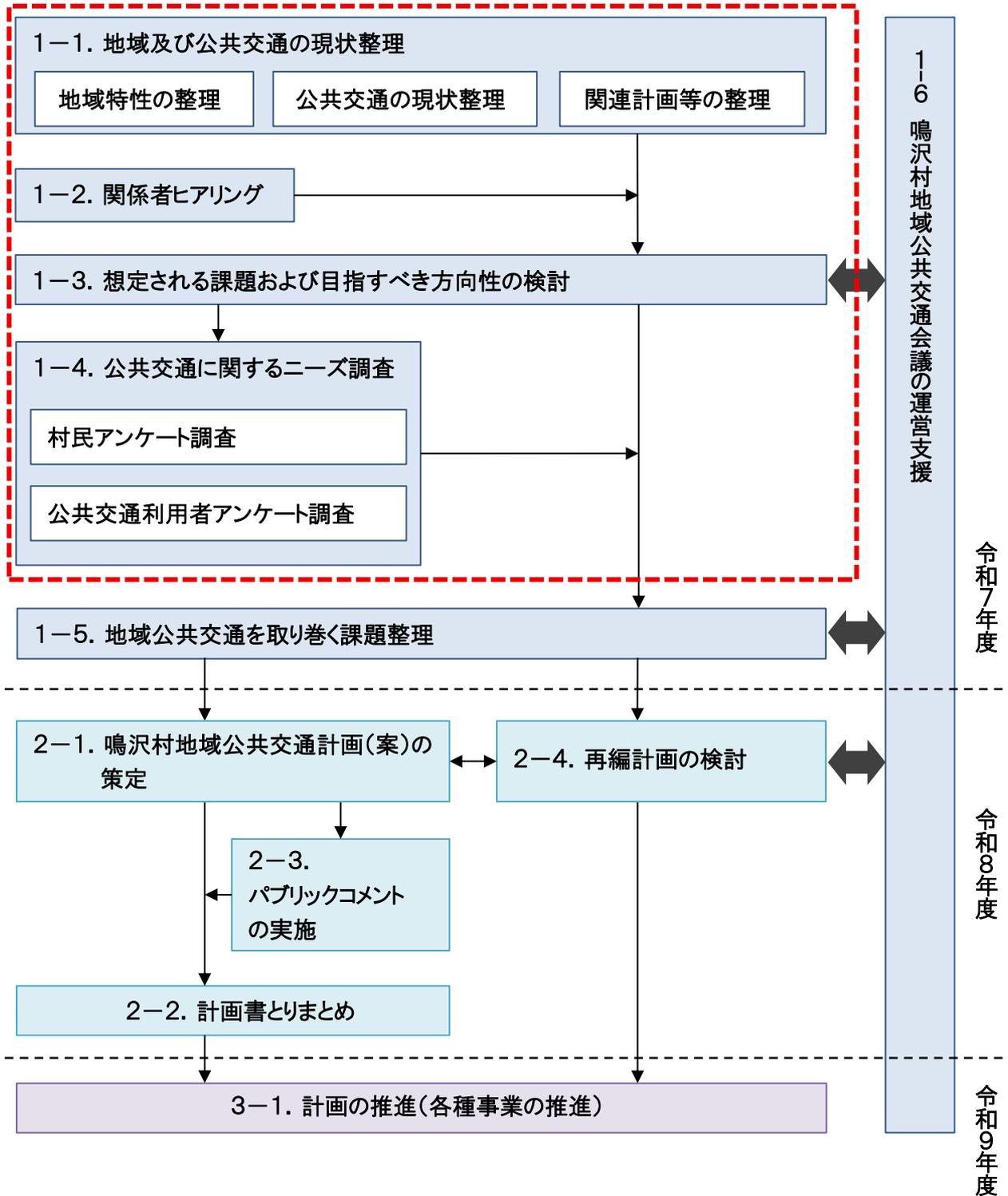
以下の方針に従って実施する。

<b>実施方針① 交通弱者における移動状況の把握を行い、優先的に公共交通サービスを提供すべきターゲットを整理する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・最終的な目標としては、「村内、村外、すべての人が便利に移動できる」ことだと認識している。しかし、財源や公共交通の担い手に限りがあり、村民の多くは自家用車で移動をしている状況である。</li><li>・村内では高い高齢化率、村外への通学(中学生以上)などの状況があるため、はじめは“公共交通を本当に必要としている人にサービスを届ける”ということを念頭に検討を進めていくことも考えられる。</li></ul>
<b>実施方針② 調査実施前に想定課題等を整理することで、調査目的や把握すべき項目を明確にする。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・効果的かつ効率的に調査を実施するためには、調査目的を整理し、把握項目を明確化する必要がある。そのために本業務の早期に「想定される課題および目指すべき方向性の検討」を行う。想定課題等を整理することで、やみくもなデータ収集・アンケート設定となってしまうことを避ける。また、想定課題等の検討にあたっては、統計データだけでなく、関係者ヒアリング結果も活用するため、関係者ヒアリングも早期に実施予定である。</li></ul>
<b>実施方針③ 地域住民に加えて、別荘地住民の移動状況を整理し、生活に合った公共交通サービスを検討する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・村内には、別荘地があり、多くの来訪がある。また、短期滞在者だけでなく、長期滞在者も見られる可能性がある。</li><li>・別荘利用者における移動状況・公共交通ニーズ等も把握しながら、検討を進める。</li></ul>
<b>実施方針④ 関係者ヒアリングを早期に実施することで、地域の声・交通事業者の声を地域公共交通計画に反映する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・関係者ヒアリングで聞き取る内容は、“定性データ”であるため、その結果を計画策定の根拠とすることが難しい場合がある。そのため、ヒアリングで把握した「公共交通の問題点」などを踏まえ、アンケート調査を行い、定性的なデータを“定量的なデータ”とすることで、ヒアリング調査結果を計画に反映する。再編計画検討時においても適宜ヒアリングを実施し、実現性の確保に努める。</li></ul>
<b>実施方針⑤ 公共交通サービスによる“まちづくりへの波及効果”を整理し、公共交通サービスの必要性を整理する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通サービスの充実(移動を支えること)は、福祉分野、観光分野などへ波及効果が見込まれる。具体的には健康寿命延伸や観光来訪者数増加などである。</li><li>・まちづくりという視点からも公共交通サービスの必要性を整理することで、公共交通サービスに対する財政負担の重要性を整理する。</li></ul>

### 3. 策定フロー

以下のフローに沿って策定を進める。

#### 第2回交通会議(本日)で報告・協議



## 4. 策定スケジュール

策定スケジュールは下記のとおり。

表 策定スケジュール

実施項目	令和7年度									令和8年度									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1-1. 地域及び公共交通の現状整理																			
1-2. 関係者ヒアリング	■	■	■																
1-3. 想定される課題および目指すべき方向性の検討	■	■	■	■															
1-4. 公共交通に関するニーズ調査				■	■	■													
1-5. 地域公共交通を取り巻く課題整理					■	■	■												
1-6. 鳴沢村地域公共交通会議の運営支援					■			■			■			■					■
2-1. 鳴沢村地域公共交通計画（案）の策定					●			■	■	■	■	■	■	■					●
2-2. 計画書とりまとめ														素案			案		承認
2-3. パブリックコメントの実施															■				
2-4. 再編計画の検討													■	■	■	■	■	■	■

主な議題（案）

- ・ 現況整理結果について
- ・ 課題、方向性（想定案）
- ・ 調査計画について

主な議題（案）

- ・ 方針や目標について
- ・ 施策事業（たたき案）について

主な議題（案）

- ・ パブリックコメントの開催結果について
- ・ 計画の承認

## 鳴沢村地域公共交通を取り巻く現状

---

### [目次]

1. データ集計 .....	1
1-1 地域特性 .....	1
1-2 地域公共交通の現状 .....	11
2. ヒアリング結果 .....	14

---

# 1. データ集計

## 1-1 地域特性

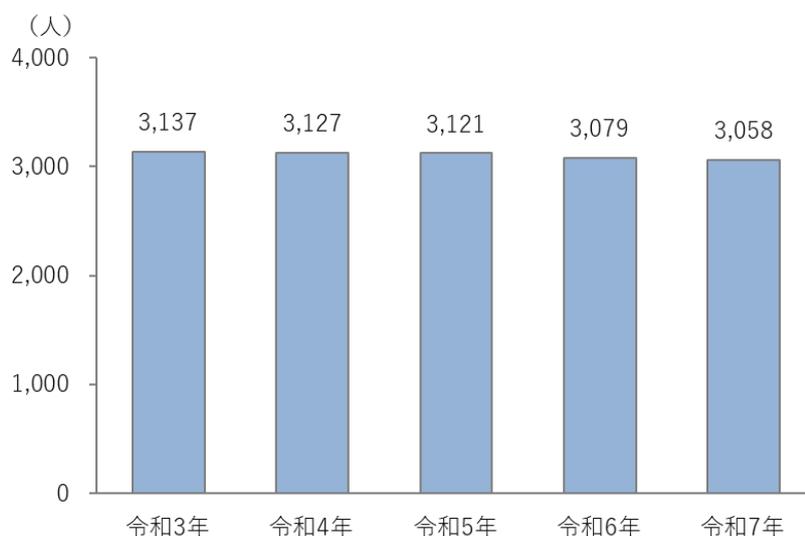
### 1-1-1 人口動態

#### 1) 人口推移

本村の人口は、令和7年4月1日現在で約3,050人となっています。5年前の平成30年に比べて、約100人減少しています。

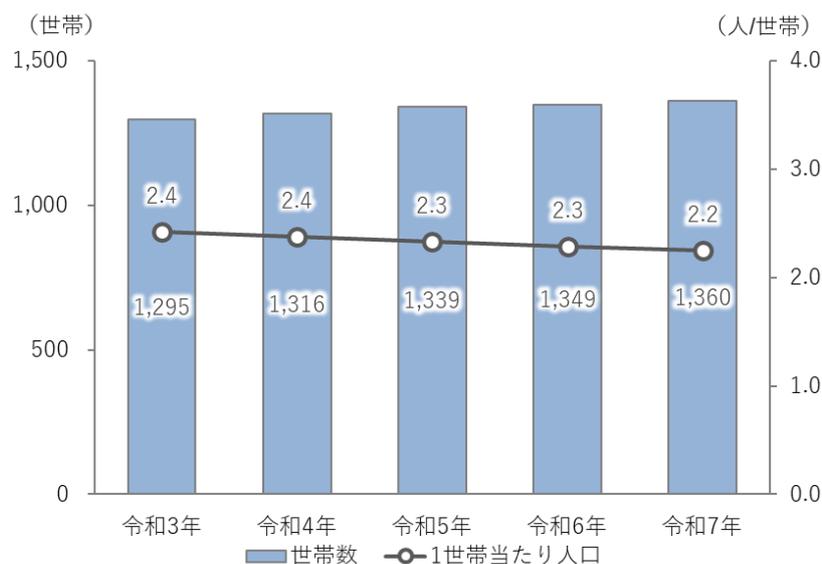
本村の世帯数は、令和7年4月1日現在で約1,700世帯となっています。5年前の平成30年に比べて、50世帯増加しており、令和7年の1世帯当たり人口は2.2人です。

#### ■人口の推移



資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

#### ■世帯数及び1世帯当たり人口の推移



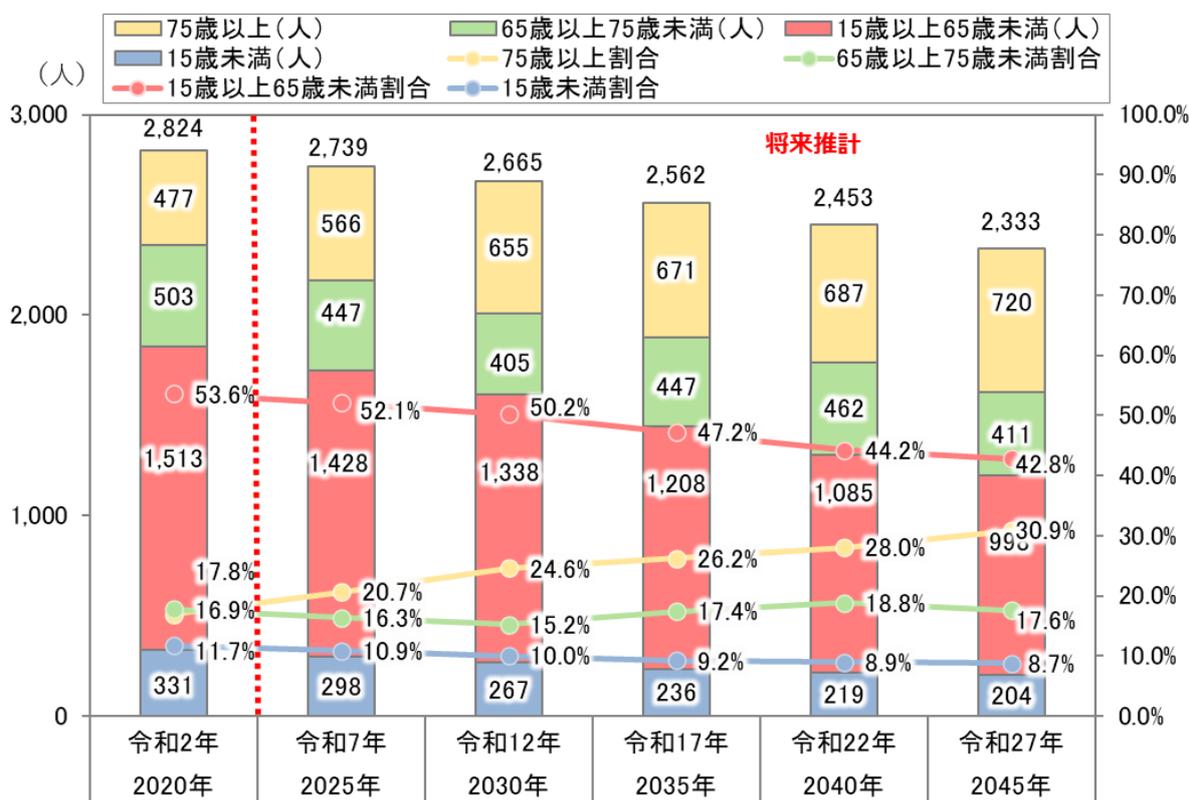
資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

## 2) 将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、本村の人口は、令和2年の2,824人から令和27年には約2,333人にまで減少することが見込まれています。

15歳未満の年少人口割合は、令和2年の11.7%から令和27年の8.7%に減少、15歳以上65歳未満の生産年齢人口割合は、53.6%から42.8%にまで減少、65歳以上の老年人口割合は、34.7%から48.5%に増加する見込みとなっています。

### ■人口の推計(目標人口)



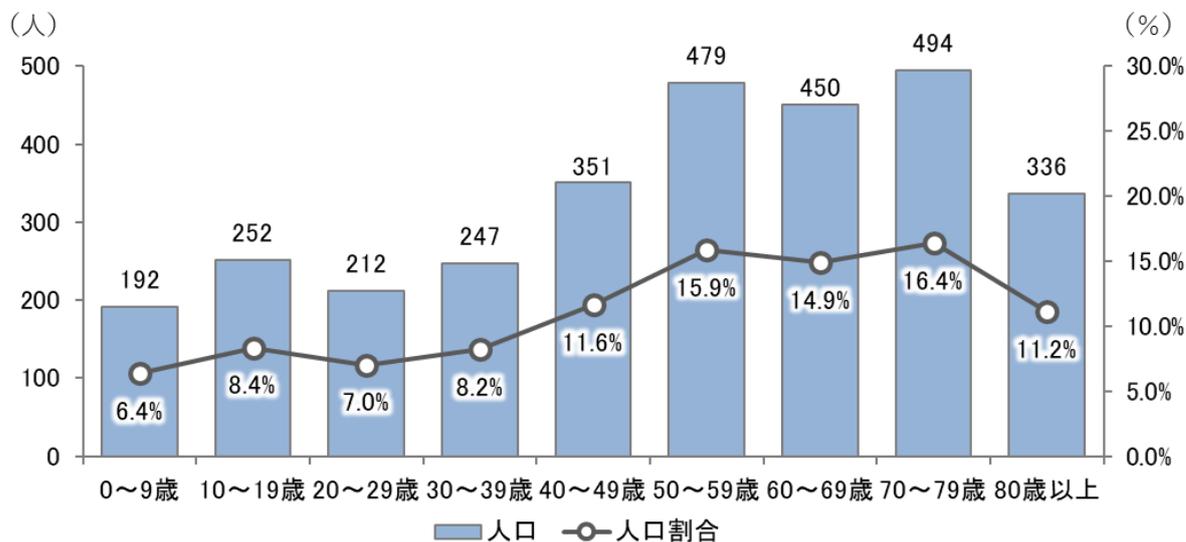
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
15歳未満 (人)	331	298	267	236	219	204
15歳以上65歳未満 (人)	1,513	1,428	1,338	1,208	1,085	998
65歳以上 (人)	980	1,013	1,060	1,118	1,149	1,131
65歳以上75歳未満 (人)	503	447	405	447	462	411
75歳以上 (人)	477	566	655	671	687	720
総人口 (人)	2,824	2,739	2,665	2,562	2,453	2,333
15歳未満割合	11.7%	10.9%	10.0%	9.2%	8.9%	8.7%
15歳以上65歳未満割合	53.6%	52.1%	50.2%	47.2%	44.2%	42.8%
65歳以上割合	34.7%	37.0%	39.8%	43.6%	46.8%	48.5%
65歳以上75歳未満割合	17.8%	16.3%	15.2%	17.4%	18.8%	17.6%
75歳以上割合	16.9%	20.7%	24.6%	26.2%	28.0%	30.9%

資料：令和2年国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所（各年10月1日現在）

### 3) 年齢別人口

令和7年1月1日現在の年齢別人口を見ると70歳代が約500人、50歳代が約480人と多くなっています。60歳以上の人口は、全人口の42.5%となっています。

#### ■年齢別人口

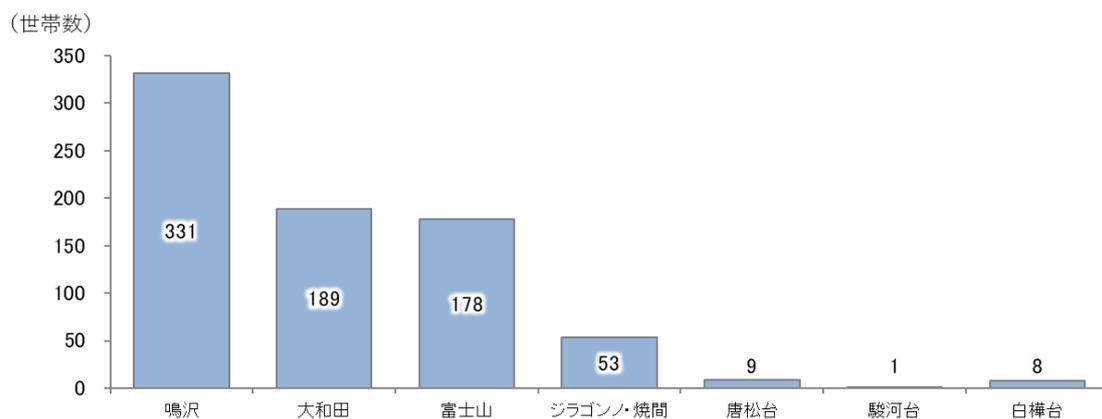


資料：住民基本台帳（令和7年1月1日現在）

### 4) 地区別人口および高齢化率

地区別世帯数を見ると、鳴沢地域が約330世帯と最も多く、次いで、大和田地域が約190世帯、富士山地域が約180世帯となっています。

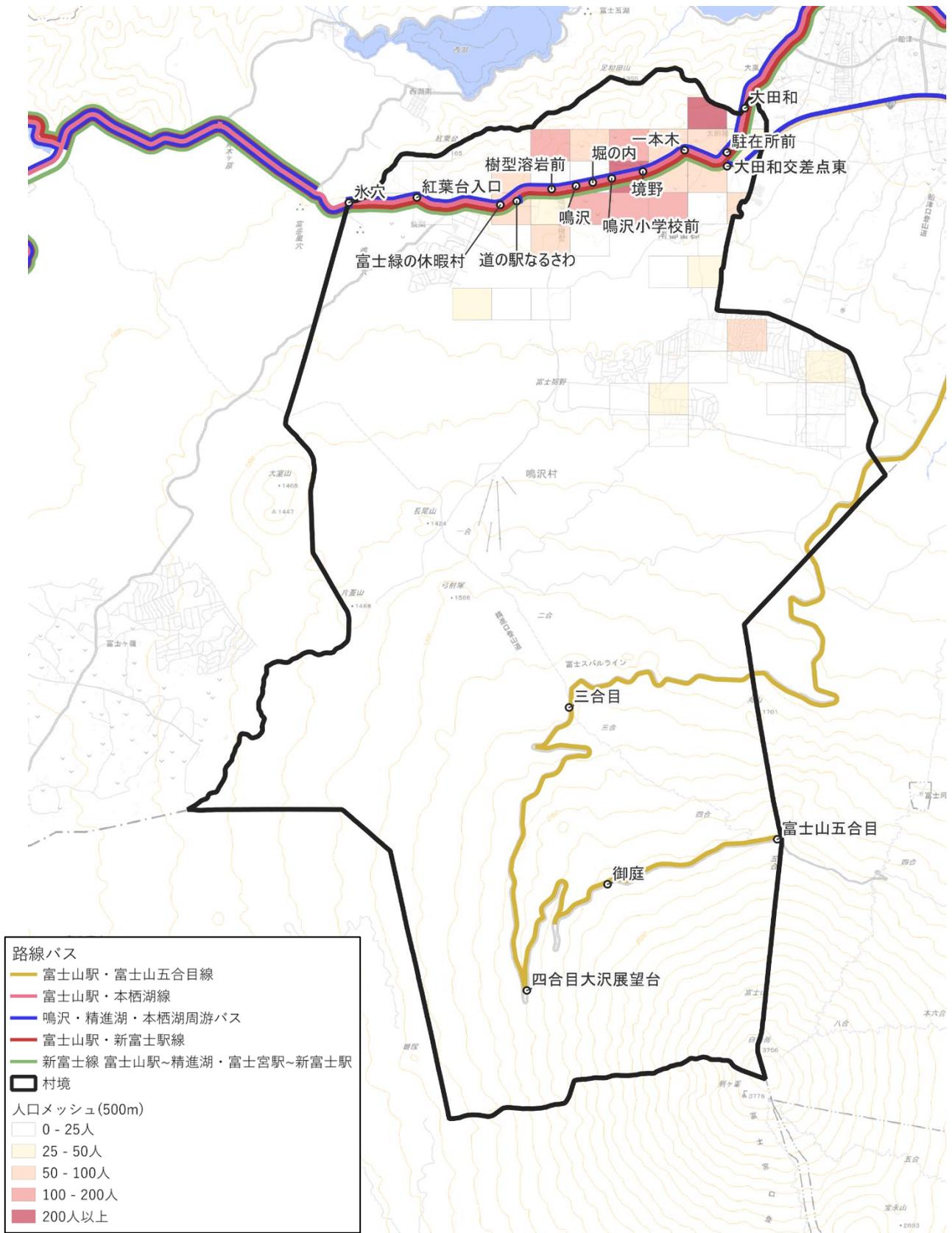
#### ■地区別世帯数



資料：鳴沢村

■人口分布状況

国道沿線に人口が集中しています。また、別荘地エリアにおいても人口集積がみられています。

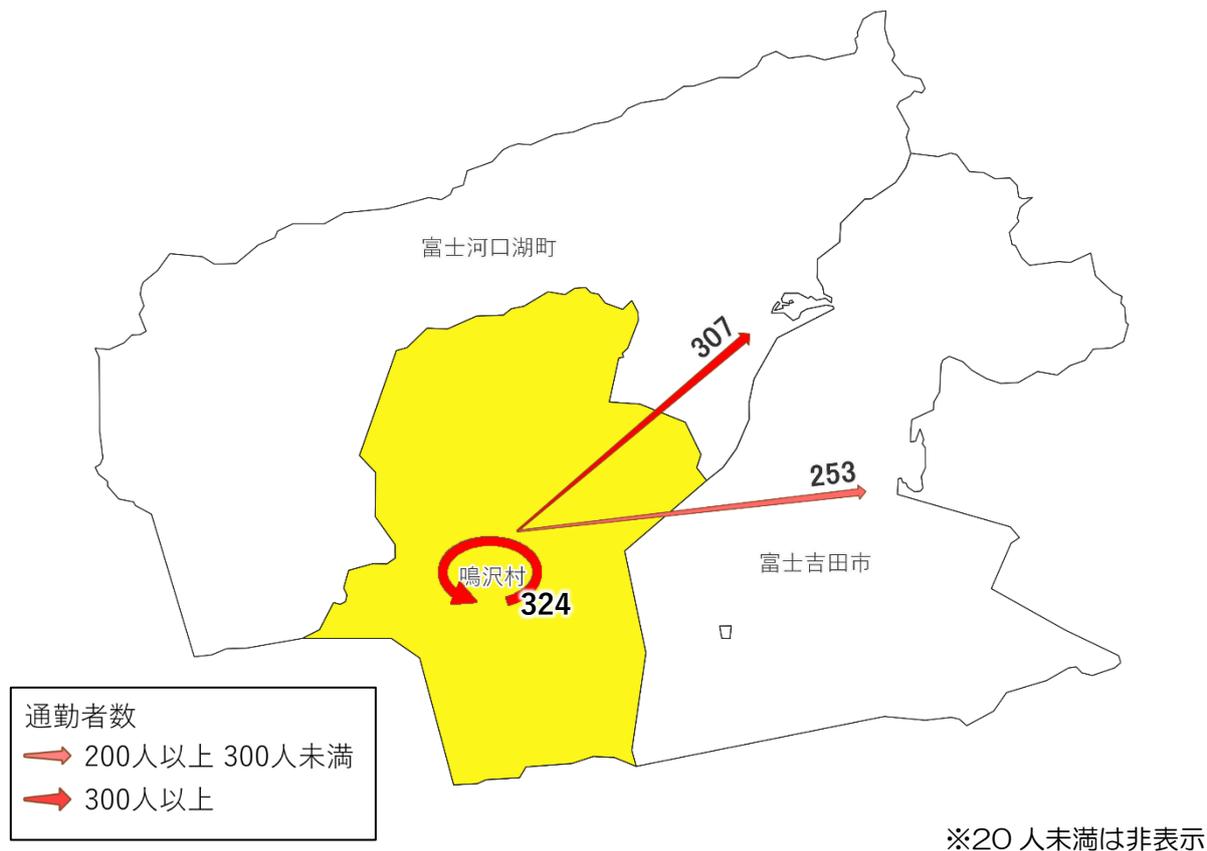


## 1-1-2 通勤および通学における流入出

### 1) 通勤流動（流出）

村内に通勤している人が324人となっています。村外の通勤先としては、富士河口湖町（307人）、富士吉田市（253人）となっています。

#### ■ 鳴沢村から他市町への通勤流動図

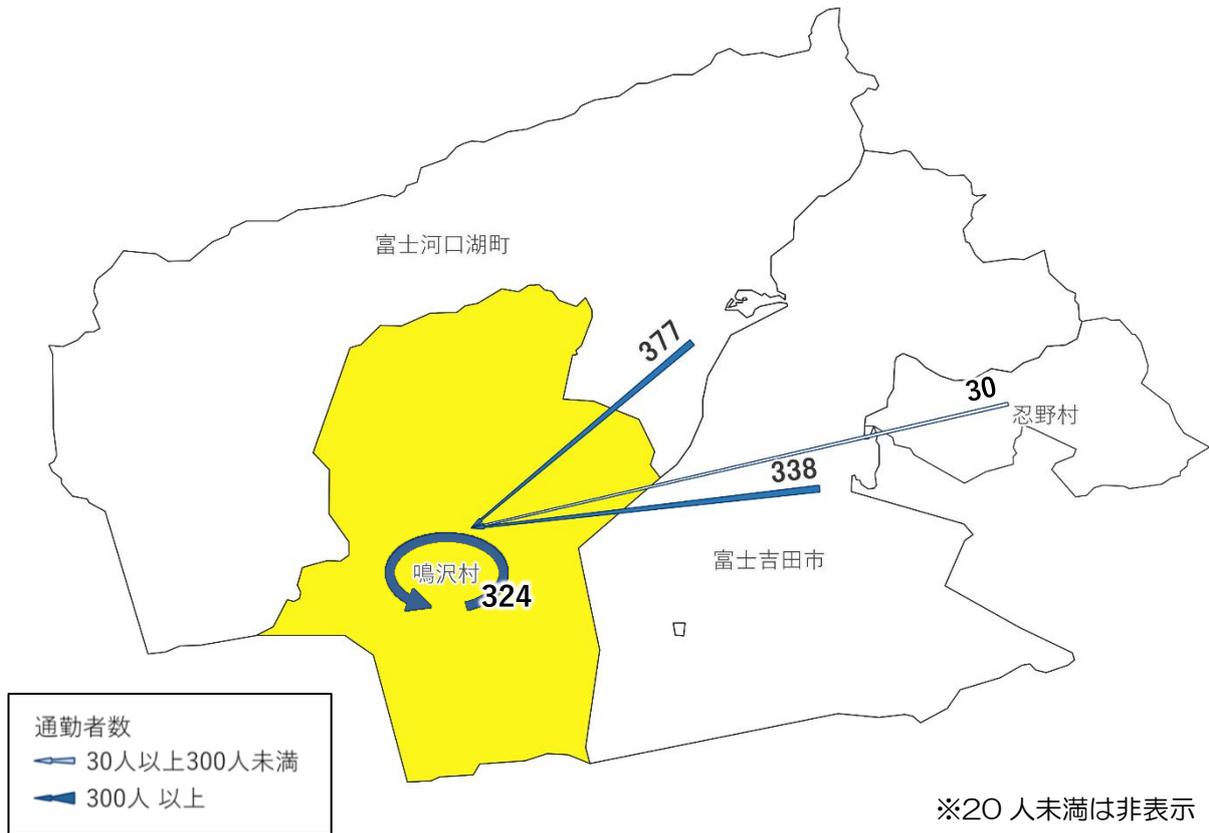


資料：国勢調査（令和2年）

## 2) 通勤流動（流入）

村外からの通勤を見ると、富士河口湖町（377人）、富士吉田市（338人）からの流入が多くなっています。

### ■ 他市町から鳴沢村への通勤流動図

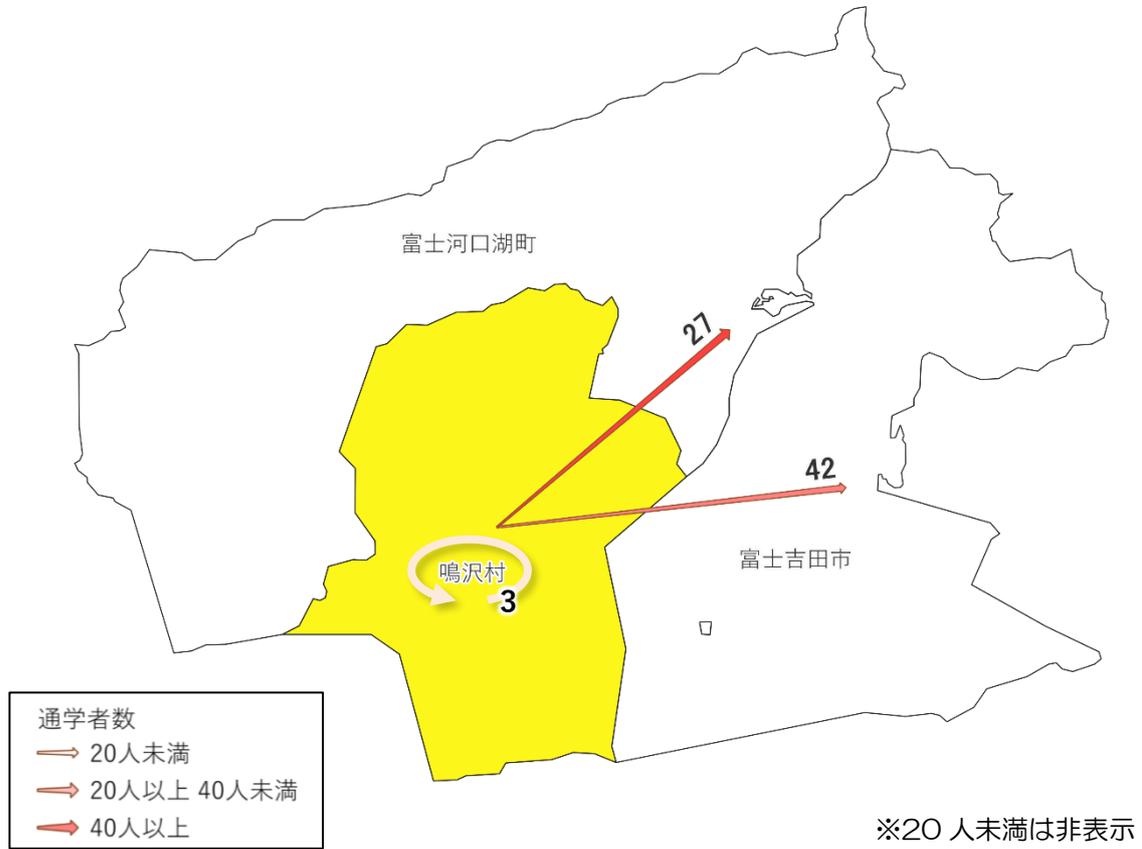


資料：国勢調査（令和2年）

### 3) 通学流動（流出）

通学先は、富士吉田市（42人）、富士河口湖町（27人）が多くなっています。

#### ■ 鳴沢村から他市町への通学流動図



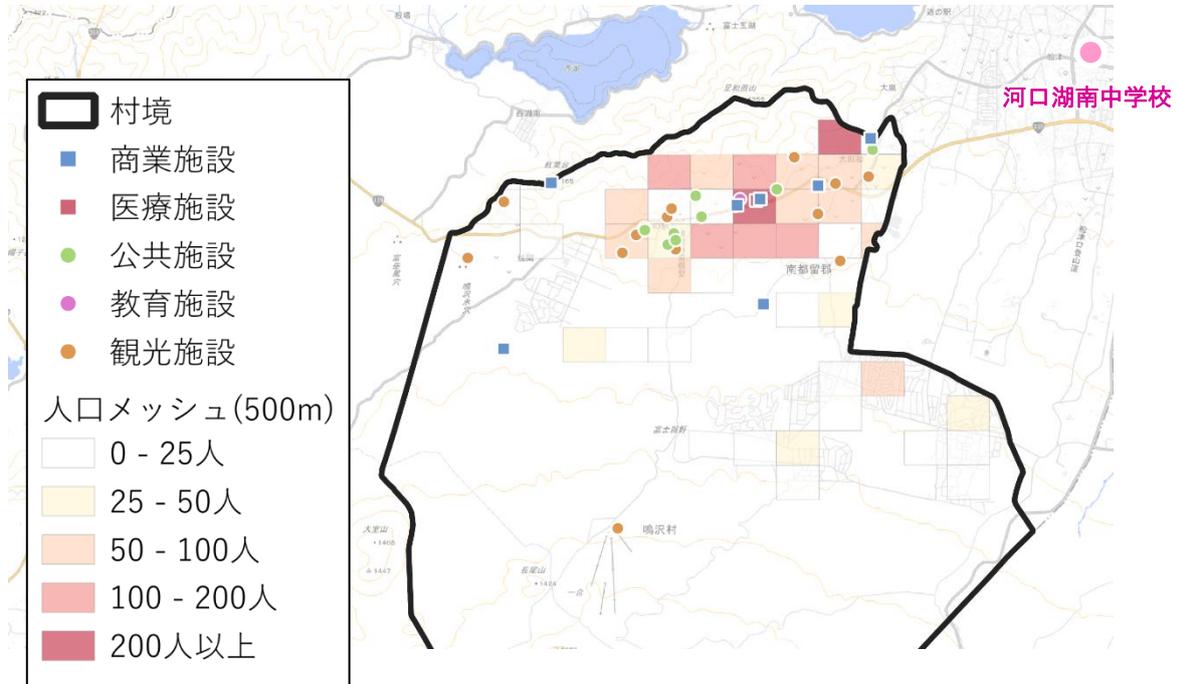
資料：国勢調査（令和2年）

### 1-1-3 主要施設の立地状況

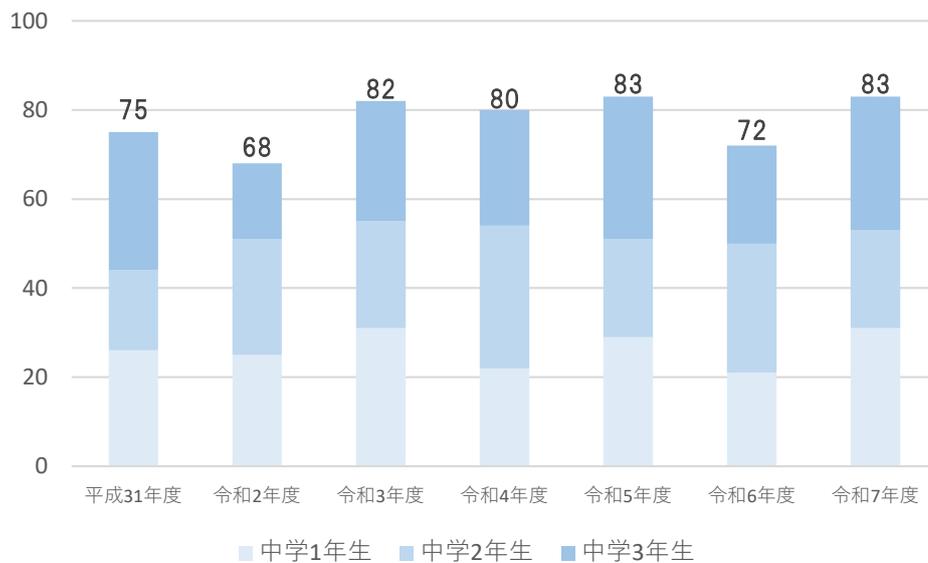
主要施設の立地状況を見ると、国道 139 号線沿線に集積しています。

教育施設については、村内は中学校がなく、富士河口湖町の「河口湖南中学校組合立河口湖南中学校」に通学する必要があります。

#### ■施設等の立地状況



<参考：村内における中学生（12歳～14歳）の推移>

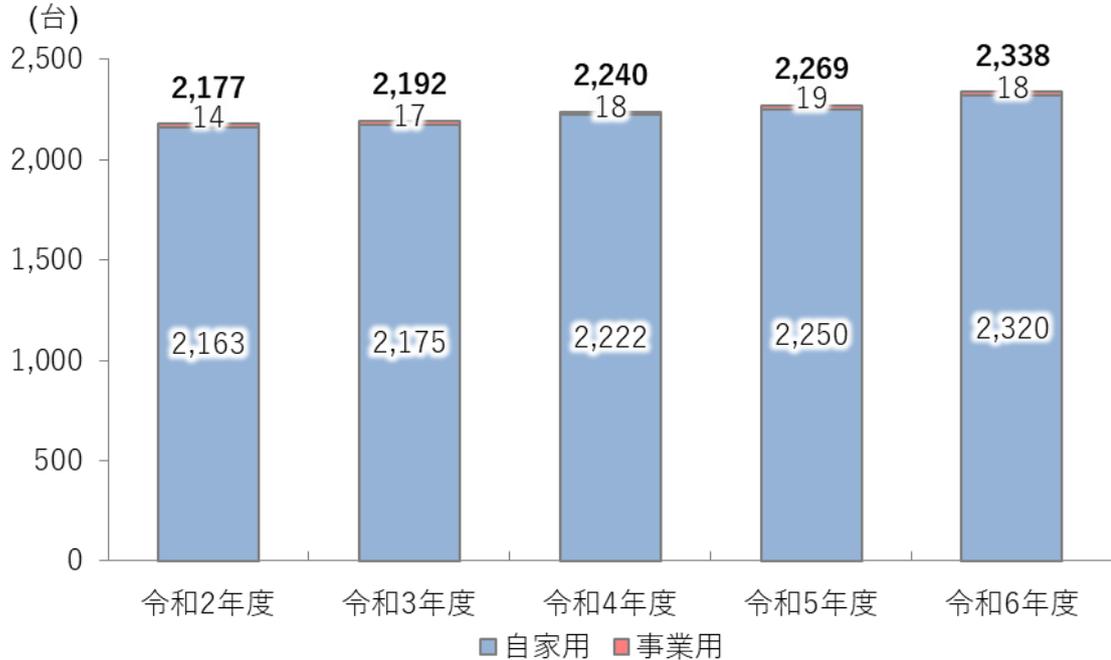


資料：鳴沢村

### 1-1-4 自動車保有状況

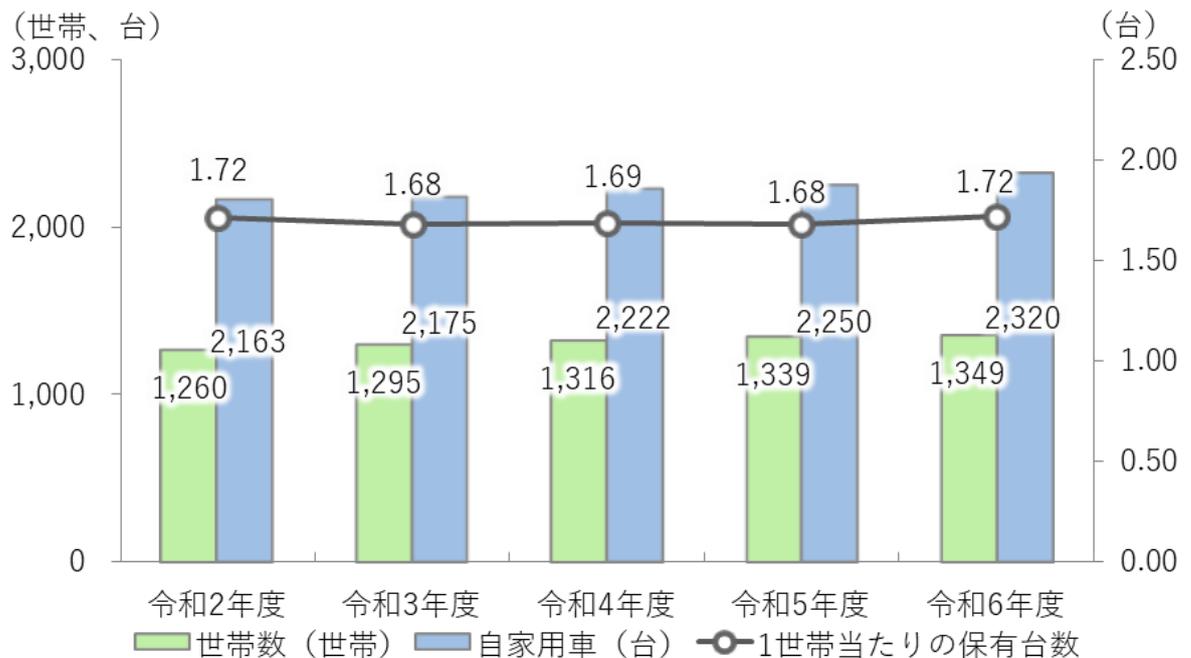
自家用車の保有台数は、令和6年度現在で2,320台となっています。  
1世帯当たりの自家用車保有台数は、令和6年度現在で1.72台となっています。

#### ■自動車保有状況の推移



資料：関東運輸局統計情報（各年度末現在）

#### ■1世帯当たりの自家用車保有台数の推移



資料：関東運輸局統計情報（各年度末現在）

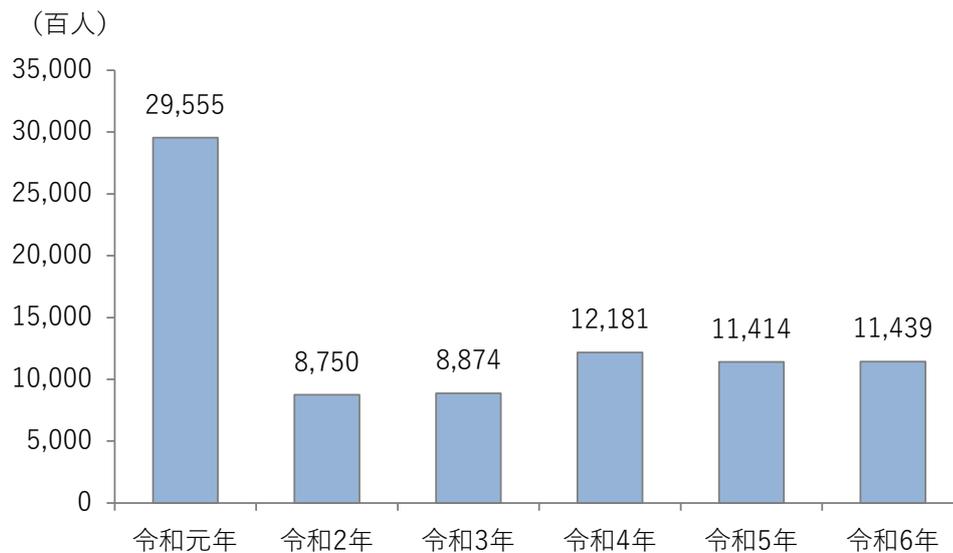
## 1-1-5 観光来訪者

観光入込客数は、令和元年から令和2年にかけて大きく減少しており、令和6年時点では、約114万人となっています。

令和6年の施設別観光入込客数を見ると、「道の駅なるさわ（約65万人）」が特に多くなっています。

その他、「鳴沢氷穴」「なるさわ富士山博物館」「鳴沢村温泉客」「ふじてんリゾート」にも一定程度の来場が見られます。

### ■観光入込客数の推移



資料：山梨県観光入込客統計調査結果

### ■施設別観光入込客数

観光施設名称	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
鳴沢氷穴	161,977	0	55,710	364,500	356,000
なるさわ富士山博物館	102,775	108,947	138,731	142,113	169,585
富士レイクサイドカントリー倶楽部	30,117	33,878	34,384	34,519	33,159
鳴沢村温泉客（富士眺望の湯ゆらり）	169,423	204,755	239,041	237,367	218,076
道の駅なるさわ	523,618	569,597	653,340	657,938	650,603
フォレスト鳴沢ゴルフ&カントリークラブ	30,405	35,080	34,177	35,901	33,579
鳴沢ゴルフ倶楽部	24,857	28,449	26,665	27,101	25,482
ふじてんリゾート	193,431	164,384	218,366	213,172	202,429
富士赤松ゴルフコース	9,415	11,193	11,365	10,373	10,265

資料：鳴沢村

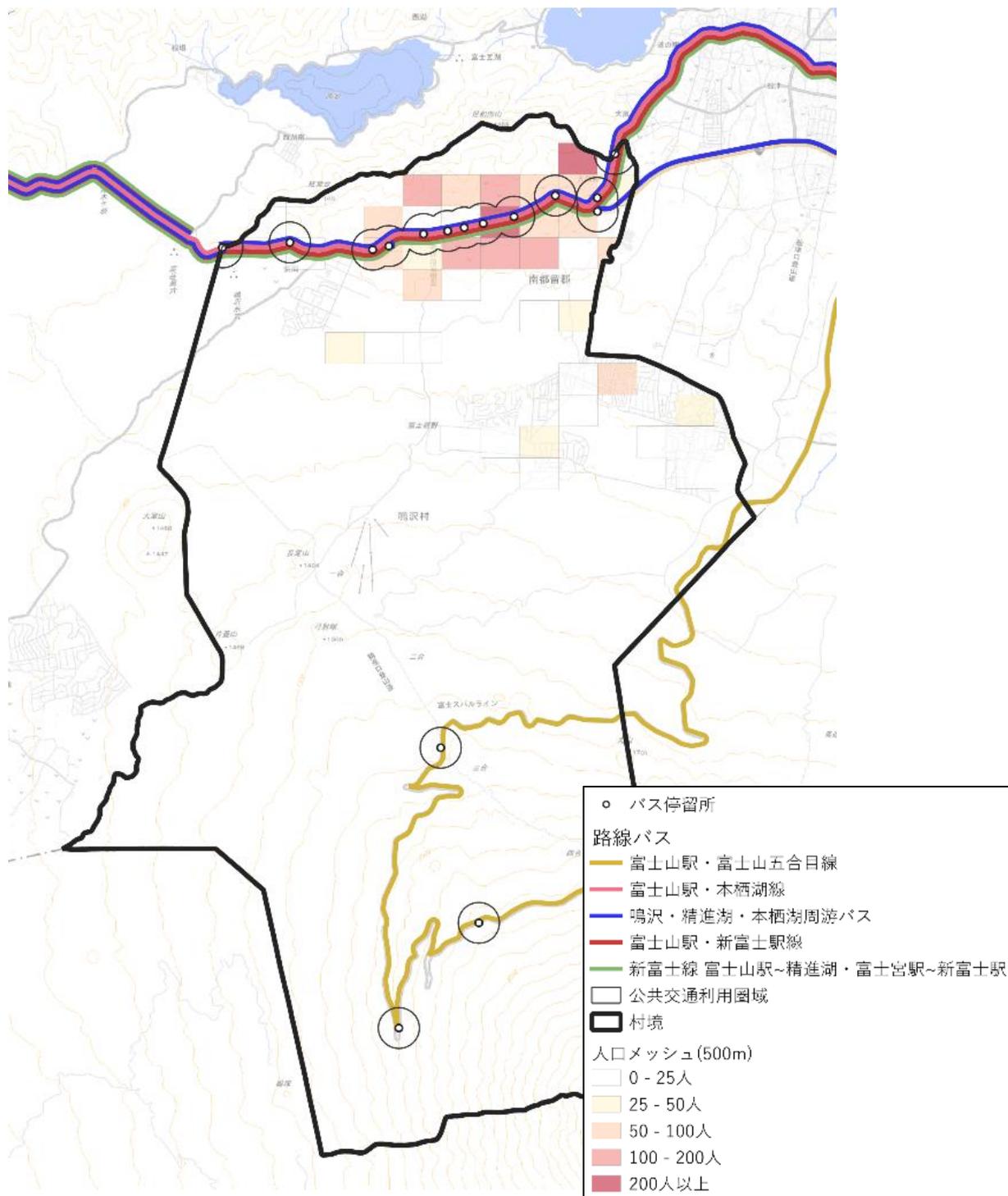
## 1-2 地域公共交通の現状

### 1-2-1 地域公共交通ネットワーク

村内の公共交通は、路線バス・タクシーが運行しています。

路線バスが利用可能な人口は約 2,044 人であり、全人口の約 83.8%となっています（総務省統計局の令和2年国勢調査地域メッシュデータを利用して、鉄道・バス交通のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域をバス停留所から徒歩 300m 以内としました）。

#### ■ 鳴沢村内の地域公共交通ネットワーク



■鳴沢村内の地域公共交通の運行状況

交通モード		実施主体	運行エリア	運行本数 (平日上下便数)
路線 バス	富士山駅・ 富士山五合目線	富士急バス	富士山駅・河口湖駅～ 富士山五合目	上下各 12 本
	富士山駅・ 本栖湖線	富士急バス	富士山駅～本栖湖～新富士駅	本栖湖方面:3 本 富士山駅方面:4本
	鳴沢・精進湖・本 栖湖周遊バス	富士急バス	本栖湖観光案内所～鳴沢～ 河口湖駅	上下各 5 本
	富士山駅・ 新富士駅線	富士急バス	富士山駅～鳴沢～新富士駅	上下各 3 本
	新富士線	富士急 静岡バス	富士山駅～ 本栖湖レストハウス前	土日祝のみ運行

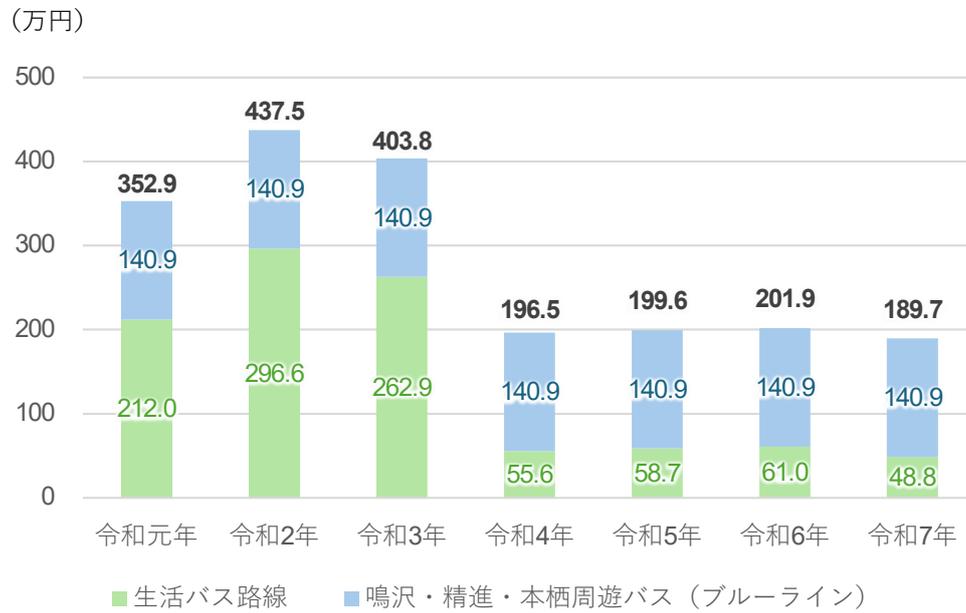
■その他の輸送サービスや支援事業

サービス名	概要
スクールバス (組合立河口湖南中学校)	鳴沢村や大嵐地区など学校から遠い地域の生徒が河口湖南中学校に通学するために運行されるスクールバスで、登下校の時間に合わせて走る専用バスです。
福祉タクシー	在宅の重度障害者や要介護高齢者などが通常の公共交通機関を利用しにくい場合に、村が指定するタクシー会社で料金の一部を助成する制度です。 利用者は申請により回数券を受け取り、1 回につき中型タクシーの初乗り運賃相当額が助成され、助成の対象となる回数は年間 24 回までです。
鳴沢村 高齢者外出支援事業	運転免許を持たない 70 歳以上の方や免許を返納した 60～69 歳の方が対象で、富士急バスの年間定期券(通常 26,200 円)の購入費用のうち 17,760 円を村が助成するか、契約タクシー会社で中型タクシー初乗り運賃 600 円を補助するチケット(月 2 枚、最大 24 枚)を受け取るかを選択できます。

## 1-2-2 公共交通に対する支出額

村では、路線バスに対して、年間 200 万円前後の補助を行っています。

### ■路線バスに対する支出額の推移



資料：鳴沢村

## 2. ヒアリング結果

交通事業者、庁内関係課、別荘地管理事務所等に聞き取りを実施し、村の現状・問題点などを把握した。

表 ヒアリング結果概要

対象者		結果概要（抜粋）
交通事業者	富士急バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幹線道路を中心に他地域を結ぶバス路線を運行。</li> <li>○ 村内を経由する全バス路線は赤字運行。バス運転手不足のなか、他地域も合わせた日中帯の観光需要の取り込み、赤字の一部支援を受け村内を運行するバス路線を維持している。</li> <li>○ 早朝帯において他地域から村内を経由する便をピンポイントで運行し、村外への通学需要を補完している。</li> </ul>
	富士急ハイヤー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな交通サービスの運行を受託について、検討の余地はある(乗務員が充足している状況ではないが、協力させていただく)。</li> <li>○ 住民の皆様の公共交通への関心・理解をさらに深めていただく余地がある。</li> </ul>
庁内関係課	福祉保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自家用車利用(家族・知人の送迎を含む)が根付いている。</li> <li>○ 免許返納者など、自家用車を運転できない方は、家族や友人の送迎に頼って移動している。</li> <li>○ 村民は公共交通に対する関心が低いように感じる。</li> <li>○ 外出支援事業として、高齢者等に対する運賃補助を行っているが、便数が多くないこともあり、支援事業利用者は多くない。</li> </ul>
	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 免許返納者など、自家用車を運転できない方は、家族や友人の送迎に頼って移動している。</li> <li>○ 高齢者の通院は、曜日によっても移動ニーズが異なる可能性がある。</li> <li>○ 貯筋会・脳イキイキ教室などにおける外出もみられる。</li> <li>○ 地域ごとに行動特性が異なる可能性が高い。</li> </ul>
村内関係者	別荘地管理事務所 (富士観光開発株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別荘地住民で外出に困っている人は多くない見込みである。</li> <li>○ 一部、村内施設(いきやりの湯など)に行くニーズもある。</li> </ul>
	別荘地住民代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別荘住民の多くは、自家用車で移動している。</li> <li>○ 自家用車を持たない方は、送迎サービスやタクシーを利用しており、移動に困っている人は多くないと思われる。</li> </ul>

# 鳴沢村地域公共交通における課題・方向性 (想定案)

---

## [目次]

1. 鳴沢村の地域公共交通が抱える課題(想定) .....	3
2. 鳴沢村の地域公共交通が目指すべき方向性(想定) .....	4
3. アンケート調査で把握すべき事項 .....	6

---

## 1 . 鳴沢村の地域公共交通が抱える課題（想定）

統計データやヒアリング結果等を基に鳴沢村地域公共交通が抱える課題を「生活者」「交通事業者」「行政・まちづくり」の視点から、下表のとおり整理しました。

公共交通の課題(想定)
<p><b>高齢者を中心とした交通弱者への公共交通サービス提供が必要</b></p> <p>本村では、自家用車がない場合に移動が大きく制限されてしまう状況にあるため、高齢者や中高生をメインターゲットに据えた公共交通サービスの提供が必要であると考えます(それ以外の村民を対象外とする意図はない)。</p> <p>中高生の通学は移動ニーズがまとまっているため、定時定路型交通が適していると考えられる。高齢者による移動ニーズは、時間帯や目的地が分散しているため、デマンド交通やタクシー活用などが有効であると考えられる。</p> <p><b>取組案</b> 朝夕時間帯における定時定路型交通の導入、日中時間帯におけるデマンド交通の導入 タクシー券補助制度の見直し など</p>
<p><b>村外施設への移動手段のサービス提供が必要</b></p> <p>村内には、商業施設や医療施設が多くなく、日常生活を送る上で、村外施設(河口湖駅、富士山駅、河口湖ショッピングセンターBELL、山梨赤十字病院、富士吉田市立病院など)までの移動が必要である。一方で、公共交通による各施設までのアクセス性が高くない状況である。</p> <p><b>取組案</b> 新たな交通サービスによる施設乗り入れ、交通結節点における乗継環境整備 など</p>
<p><b>村内の輸送サービスの役割分担が必要</b></p> <p>村内には、路線バスやタクシーに加えて、福祉タクシー、別荘地送迎バス、スクールバス等の輸送サービスが運行されている。公共交通事業者においては、深刻なドライバー不足を抱えており、福祉タクシーやその他送迎サービスにおいても人手が足りていないことが想定されるため、これらサービスを一体的に見直す必要があると考えられる。</p> <p><b>取組案</b> 新たな交通サービスと村内輸送サービスの一体的な再編、関係者会議の定期的な開催 など</p>
<p><b>公共交通に対する関心の向上が必要</b></p> <p>本村の人口分布や施設立地状況、公共交通サービスの提供状況等を踏まえると、本村では自家用車利用率が極めて高く、多くの村民は公共交通サービスに関心を持っていないと考えられる。</p> <p>公共交通の利用が少なくなることで、サービス水準が低下を招き、さらなる利用者減少につながっていくことが想定されるため、公共交通を知ってもらい、使ってもらうための取組が必要であると考えられる。</p> <p><b>取組案</b> 公共交通の周知チラシの配布、無料乗車券の配布、公共交通乗車イベントの実施 など</p>

## 2 . 鳴沢村の地域公共交通が目指すべき方向性（想定）

鳴沢村の現状・課題を踏まえ、地域公共交通が目指す方向性を下記のとおり整理しました。はじめは、下表のとおり、公共交通の必要性が高いと考えられる方々に移動サービスを提供していきます。

### < 基本方針(想定) >

#### 交通弱者の生活を支える 持続可能な 地域公共交通

最終的にはすべての人々にとって利用しやすい公共交通体系の構築を目指すものの、財源や人材にも限りがある。そのため、本計画の計画期間中は、“公共交通を必要とする人々”が便利に移動できることを目指し、公共交通サービスの利便性向上・持続可能性の向上を図る。必要となるサービスを確保した上で、次の段階として、自家用車の過度な依存の低減を図ります。

その実現のためには地域との協働が必要となることから、村・交通事業者・地域が一体となって取り組みを推進する。

表 属性別の公共交通の必要性（想定案）

類型		公共交通の必要性(優先度)		
		高	中	低
自家用車を利用できる人	運転や送迎に対して負担感が少ない方			
	運転に対して負担感がある人			
	送迎に対して負担感がある人			
	免許返納希望者			
自家用車を利用できない人 (交通弱者)	免許返納者・免許非保有者			
	障がい者 乗降場所までの移動が可能な方			
	高校生			
	小・中学生		*	
来訪者	クルマ利用者			
	公共交通利用者			

\* : 中学生は、自家用車を利用できないことに加えて、村外まで通学する必要があるものの、現状ではスクールバスを運行し、通学をカバーしていることから、公共交通サービスの必要性は「中」とした。

## < 目指す姿(想定) >

### 目指す姿 1 お年寄りが地域公共交通で買い物・通院等ができる

お年寄りの移動ニーズに合わせた交通サービスを提供し、自家用車が無くても、買い物・通院等がしやすい環境を整えます。

### 目指す姿 2 子どもが地域公共交通で通学できる

朝夕時間帯の交通サービスを提供し、中高生が公共交通で通学できる環境を整えます。

### 目指す姿 3 村民が地域公共交通に高い関心を持っている

公共交通に関する情報発信等を行い、村民の公共交通に対する関心を高めます。

### 目指す姿 4 地域公共交通をみんなで支える

村・交通事業者・地域が一体となって、地域公共交通を支えていきます。  
村・地域は、公共交通を使うこと、担い手支援をすることで、地域公共交通を支えます。

## < 公共交通ネットワークの将来イメージ(想定) >



### 3. アンケート調査で把握すべき事項

前項までに整理した「想定される課題および方向性」を精査するために、アンケート調査で把握すべき事項を下記のとおり整理します。

関連する項目	把握すべき事項	村民アンケート	利用者アンケート
<b>基本方針</b> 交通弱者の生活を支える 持続可能な 地域公共交通	移動における困りごとの有無		
	移動に困る時間帯、曜日、行き先		
<b>目指す姿1</b> お年寄りが地域公共交通で買い物・通院できる	移動に不便を感じているお年寄りの属性(年齢・居住地など)		
	お年寄りの買物状況(行き先、時間帯、曜日など)		
	お年寄りの通院状況(行き先、時間帯、曜日など)		
	お年寄りのその他の外出状況(集会、習い事、温浴施設など)		
	公共交通を利用する理由		
	現行の公共交通サービスで行きにくい場所		
<b>目指す姿2</b> 子どもが地域公共交通で通学できる	子どもの通学状況(時間帯、部活・課外活動)		
	進路(進学・就職)への影響		
	公共交通を利用する理由、満足度		
<b>目指す姿3</b> 村民が地域公共交通に高い関心を持っており、必要に応じて利用できる	公共交通サービスの認知状況		
	普段、目にする情報媒体		
<b>目指す姿4</b> 地域公共交通をみんなで支える	公共交通を利用するようになるための改善点		
	地域ドライバーとしての活動意向		
<b>公共交通ネットワークの将来イメージ</b>	乗り継ぎに対する抵抗感、乗継利用する際に求められる条件		
	公共交通で行きたい場所		

地域ごとに特性が異なるため、適宜、地域別集計を行います。

## 各種アンケート調査の実施について

---

### 【目次】

1. 村民アンケート調査 .....	1
1-1 実施概要 .....	1
1-2 調査項目 .....	1
1-3 スケジュール .....	2
1-4 配布物 .....	2
1-5 設問設定（案） .....	3
2. 公共交通利用者アンケート調査 .....	7
2-1 実施概要 .....	7
2-2 調査項目 .....	7
2-3 スケジュール .....	8
2-4 配布物 .....	8
2-5 設問設定（案） .....	9

---

# 1 . 村民アンケート調査

## 1 - 1 実施概要

日常的な交通行動、公共交通の利用状況、サービスに対する満足度、公共交通の維持・確保のあり方。公共交通の利用者及び公共交通の潜在需要層のニーズを把握し、将来の地域公共交通のすがたやその実現に向けて必要となる施策等を検討するにあたっての基礎資料として活用するため、村民アンケートを実施する。

表 アンケート実施概要（案）

項目	概要
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	令和8年1月23日(金)～令和8年2月2日(月)
調査対象	鳴沢村民(全世帯に配布)
配布部数	1,400 票
配布物	調査票 WEB 回答用コードを掲載 返信用封筒

## 1 - 2 調査項目

調査項目は下記のとおり。

表 村民アンケート調査項目

調査項目	把握項目(概要)
日常生活の移動実態	・買い物、通院、通勤・通学などの日常生活での移動実態(目的地、頻度、交通手段など) ・移動における困りごと など
公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無、利用実態(利用した公共交通、目的、乗り継ぎ実態、頻度など) ・公共交通サービスの認知状況 など
公共交通に対する考え方	・公共交通サービスに対する満足度 ・各公共交通サービスの運行内容に対する満足度 ・公共交通に対する村の財政負担に対する考え方 ・公共交通の改善点、改善した場合の利用意向 ・公共交通サービスの充実度による生活の変化 ・地域協働型交通の利用意向や、地域ドライバーとしての活動意向 など

### 1-3 スケジュール

スケジュールは下記のとおり。

表 スケジュール(案)

項目	期間
調査計画書・調査票の作成	～令和8年1月16日(金)
調査票の印刷・封入・発送	～令和8年1月22日(木)
<b>調査実施</b>	<b>令和8年1月23日(金)～令和8年2月2日(月)</b>
回答締切	令和8年2月2日(月)
集計・とりまとめ	令和8年年2月20日(金)まで

### 1-4 配布物

本調査では、下表の3種類の印刷物を作成、下表に示す に ～ を封入・封緘した上で、対象者の宛名ラベルを貼付し、発送する。

表 配布物の概要

項目	内容
配布用封筒	角型2号サイズ
アンケート調査票	A4サイズ、白黒、12ページ程度 1ページ目に挨拶文(調査依頼文)を記載 WEB回答用コードを記載
返信用封筒	長型3号サイズ

## 1-5 設問設定(案)

設問案は次のとおり。

設問		区分	選択肢	備考
(日用品の買物) 移動実態	1. 買い物に出かける頻度を教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. 自分で買い物に出かけない	
	2. 【買い物をされる方のみ回答】 普段の買い物でよく行く店舗、エリアを1つ教えてください。	単一	1. 道の駅なるさわ 2. ローソン鳴沢店 3. セブンイレブン山梨鳴沢店 4. マックスバリュ(富士河口湖町) 5. BELL(富士河口湖町) 6. オギノ河口湖店(富士河口湖町) 7. その他( )	
	3. 【買い物をされる方のみ回答】 買い物に出かける時間帯を教えてください。	単一 記入	行き:大体__時台 帰り:大体__時台 (24時間表記)	家を出る時間、家に到着する時間を記入していただく
	4. 【買い物をされる方のみ回答】 買い物に出かけるときの交通手段を教えてください。	複数	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. 一般タクシー 10. その他( )	
(通院) 移動実態	5. 通院の頻度を教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4回 3. 週に1~2回 4. 月に数回 5. 年に数回 6. 通院していない	
	6. 【通院をしている方のみ回答】 普段の通院でよく行く施設を教えてください。	単一 記入	1. なるさわクリニック 2. 安富歯科医院 3. 山梨赤十字病院(富士河口湖町) 4. 富士吉田市立病院(富士吉田市) 5. その他( )	
	7. 【通院をしている方のみ回答】 通院に出かける時間帯を教えてください。	単一 記入	行き:大体 時台 帰り:大体 時台 (24時間表記)	
	8. 【通院をしている方のみ回答】 通院に出かけるときの交通手段を教えてください。	複数	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 路線バス 8. 一般タクシー 9. その他( )	
(通勤) 移動実態	9. 【通勤をしている方のみ回答】 通勤の頻度を教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 年に数日	
	10. 【通勤をしている方のみ回答】 通勤先を教えてください。	単一	1. 鳴沢村内 2. 富士河口湖町 3. 富士吉田市 4. 都留市 5. 大月市 6. 甲府市 7. 都内	
	11. 【通勤をしている方のみ回答】 通勤の時間帯についてお伺いします。	単一 記入	行き:大体 時台 帰り:大体 時台 (24時間表記)	
	12. 【通勤をしている方のみ回答】 通勤の交通手段を教えてください。	複数	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 路線バス 8. 一般タクシー 9. 企業送迎バス 11. その他( )	
(余暇活動) 移動実態	13. 買物・通院・通勤以外で、よく外出する場所を教えてください。また、その施設名を教えてください。	単一 記入	1. 鳴沢村内 2. 村外 (外出先の具体的な名称を記入)	
	14. 【余暇活動における外出がある方のみ】 外出の頻度を教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 年に数日	
	15. 【余暇活動における外出がある方のみ】 外出の時間帯についてお伺いします。	単一 記入	行き:大体 時台 帰り:大体 時台 (24時間表記)	
	16. 【余暇活動における外出がある方のみ】 外出時の交通手段を教えてください。	複数	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 路線バス 8. 一般タクシー 9. その他( )	
(通学) 移動実態	17. 一緒に暮らしているお子さん(大学生、高校生、中学生、小学生)の就学状況を教えてください。	単一	1. 大学・専門学校 2. 高等学校 3. 中学校 4. 小学校 5. 幼稚園・保育園 6. 同居していない	
	18. 【通学をしている方のみ回答】 通学先を教えてください。	単一	1. 鳴沢村内 2. 富士河口湖町 3. 富士吉田市 4. 都留市 5. 大月市 6. 甲府市 7. 都内	
	19. 【通学をしている方のみ回答】 通学に出かける時間帯を教えてください。	単一 記入	行き:大体 時台 帰り:大体 時台 (24時間表記)	

設問		区分	選択肢	備考
	20. 【通学をしている方のみ回答】 通学先に電車で行く場合、何時頃に河口湖駅に到着する必要がありますか。	記入	___時___分頃	
	21. 【通学をしている方のみ回答】 通学に出かけるときの交通手段を教えてください。	複数	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 路線バス 8. 一般タクシー 9. その他( )	
移動における困りごと	22. 普段の買い物・通院・通勤において困ることがありますか。	単一	【買い物】 1. 困ることはあまりない 2. たまに困ることがある 3. 日常的に困っている 【通院】 1. 困ることはあまりない 2. たまに困ることがある 3. 日常的に困っている 【通勤】 1. 困ることはあまりない 2. たまに困ることがある 3. 日常的に困っている	
	23. 【外出に困ることがある方のみ回答】 路線バスやタクシーがより便利になる(増便やルートの見直し等)ことで、その困りごとは改善されますか。	単一	1. できると思う 2. できないと思う 3. わからない	
	24. 【改善できると思う方のみ回答】 路線バスやタクシーでどこまで行きやすくなると、外出する際の困りごとは改善されますか。	記入	( )	
	25. 【改善できると思う方のみ回答】 その際に望まれる曜日を教えてください(3つまで)。	3つ まで 選択	1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日 6. 土曜日 7. 日曜日	
	26. 【外出に困ることがある方のみ回答】 外出に困ることが多い時間帯を教えてください。	単一	1. 6時～9時頃 2. 9時～12時頃 3. 12時～15時頃 4. 15時～18時頃 5. 18時～21時 6. 21時～0時	
公共交通の利用状況(鉄道)	27. 鉄道(富士急行)の利用頻度を教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. 全く利用しない	
	28. 【鉄道利用者のみ回答】 普段よく利用する鉄道駅を教えてください。	単一	1. 河口湖駅 2. 富士急ハイランド駅 3. 富士山駅 4. 大月駅	駅勢圏を把握するため
	29. 【鉄道利用者のみ回答】 鉄道利用時の最終目的地はどこでしょうか。自治体名、施設名と施設最寄りの駅名を教えてください。	単一 記入	(駅名または市区町村名を記入)	村の主要交通であるため、鉄道の利用状況も聞き取る。
	30. 【鉄道利用者のみ回答】 鉄道利用時の外出目的を教えてください。	複数	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物(日用品) 5. 買い物(衣服や家電等) 6. 飲食 7. 地域の集まり等 8. レジャー 9. その他(具体的に記入)	
	31. 【鉄道利用者のみ回答】 自宅から最も利用する駅までの主な交通手段を教えてください。	複数	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 路線バス 7. 一般タクシー 8. その他( )	
公共交通の利用状況(路線バス)	32. 村内を運行する路線バスをどのくらい利用していますか。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. 全く利用しない	
	33. 【路線バスを利用する方のみ回答】 最もよく利用する区間を教えてください。	単一 記入	(乗車したバス停名と降車したバス停名を記入)	
	34. 【路線バスを利用する方のみ回答】 路線バスを利用する目的を教えてください。	複数	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物(日用品) 5. 買い物(衣服や家電等) 6. 飲食 7. 地域の集まり等 8. レジャー 9. その他(具体的に記入)	
	35. 自宅から最も利用するバス停までの所要時間を教えてください。	単一	1. 徒歩5分未満 2. 徒歩5～9分 3. 徒歩10～14分 4. 徒歩15分以上 5. わからない	路線バスの利用圏を把握するため 非利用者にも聞き取る
	36. 最後にバスに乗ったのはいつか教えてください。	単一	1. 1週間以内 2. 1か月以内 3. 1年以内 4. 1年よりも前 5. わからない	

設問		区分	選択肢	備考
	37. 路線バスの運行内容について満足度を教えてください。	単一	以下の項目についてそれぞれ「1.不満足 2.やや不満足 3.どちらともいえない 4.やや満足 5.満足 0.利用していないのでわからない」で評価 1. 早朝時間帯の運行本数 2. 日中時間帯の運行本数 3. 夕方以降の運行本数 4. 始発便の時間 5. 最終便の時間 6. 自宅～バス停間の距離 7. 運賃設定、割引制度 8. 乗り継ぎの待ち時間	利用されている理由、改善点の整理に活用。 非利用者の不満点も整理予定。
公共交通の利用状況 (タクシー)	38. 村内を運行するタクシーの利用頻度を教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. 全く利用しない	
	39. 【タクシーを利用する方のみ回答】 タクシーを最もよく利用する区間を教えてください。	単一 記入	(乗車場所と降車場所を記入)	
	40. 【タクシーを利用する方のみ回答】 利用する目的は何ですか。	複数	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物(日用品) 5. 買い物(衣服や家電等) 6. 飲食 7. 地域の集まり等 8. レジャー 9. その他(具体的に記入)	
	41. 【タクシーを利用する方のみ回答】 よく利用する時間帯と予約をしてからタクシーが到着するまでの時間を教えてください。	単一	【よく利用する時間帯】大体____時台 【タクシーが来るまでの時間】 1. 10分未満 2. 10～20分 3. 20～30分 4. 30～59分 5. 60分以上 6. 予約してタクシーを利用することが少ないため分からない	
	42. タクシーの運行内容について満足度を教えてください。	単一	1. 早朝時間帯の運行台数 2. 日中時間帯の運行台数 3. 夕方の運行台数 4. 夜間の運行台数 5. 運賃設定 6. 予約のしやすさ 7. つかまえやすさ 8. 割引制度 9. 待ち時間	利用されている理由、改善点の整理に活用。 非利用者の不満点も整理予定。
公共交通に対する考え方	43. 次の項目のうち、十分に把握されていないものを選択してください。	複数	1. 村内の路線バスの運行ルート 2. 村内の路線バスのダイヤ 3. 路線バスの運賃の確認方法 4. 路線バスの運行ルートやダイヤの調べ方 5. タクシーの配車・予約方法 6. タクシー会社の電話番号	周知・利用促進に活用予定
	44. 一回のおでかけで複数の公共交通サービスを乗継ぐことはありますか。	単一	1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. ほとんどない 5. 分からない	
	45. 公共交通を乗り継いで利用しなければいけない場合、あなたが重視することを教えてください。	3つまで 選択	1. 早く目的地に到着できること 2. 運賃が高くないこと 3. 乗り継ぎ地点での待ち時間が短いこと 4. 乗り継ぎ地点にベンチや上屋があり、暖かい場所で待てること 5. 乗り継ぎ地点の周辺に飲食店やコンビニ等があり、時間をつぶせること 6. 案内(時刻表・路線図等)が充実しており、自分が乗り継ぐ公共交通がわかりやすいこと 7. スマホアプリやWEB上で、乗り継ぎ経路の検索がしやすいこと 8. 乗り降りしやすい車両であること 9. その他( )	
	46. 路線バス、一般タクシーが今よりも充実した場合の生活の変化について、当てはまるものを選択してください。	複数	1. 外出頻度が増える 2. 自家用車の運転頻度が減る 3. 家族や友人に送迎してもらうことが減る 4. 家族や友人を送迎する頻度が減る 5. 子どもの進路選択の幅が広がる 6. 村内での買い物や通院が増える 7. 村外へのお出かけが増える。 8. 鳴沢村に安心して暮らし続けることができる。 9. その他( )	公共交通によるまちづくりへの効果を把握するため。
	47. 地域協働型交通(村民がドライバーになり、他の村民を輸送するサービス)が本村に導入された場合、乗客として利用したいと思いますか。	単一	1. 利用したい 2. どちらとも言えない 3. 利用したくない	
48. 【利用したい方のみ回答】 想定される利用頻度を教えてください。	単一	1. 週5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日		

設問		区分	選択肢	備考
	49. 地域協働型交通(村民がドライバーになり、他の村民を輸送するサービス)が本村に導入された場合、ドライバーとして活動したいと思いますか。	単一	1.無償でも活動したい 2.報酬があるなら活動したい 1時間につき____円の報酬なら活動したい 3.活動したくない	
	50. 全国では、移動が便利になる新しい公共交通サービスが研究・実施されています。次のうち、本村でも利用できる嬉しい交通サービスはどれですか。該当するものを3つまでをつけてください。	3つまで選択	1. アプリ等で予約して、乗車できる交通サービス 2. 一人乗り小型車両をレンタルできるサービス(普通免許が必要) 3. 短距離移動に最適な電動自転車のシェアリングサービス 4. 公共施設や商業施設等で電動車いすをレンタルできるサービス 5. ICカード等を活用した乗り継ぎ割引サービス 6. スマートフォンでバス・タクシー等の現在位置や到着時刻を検索できるサービス 7. 低速の小型電動車両で住宅地内等をきめ細かく運行するバスサービス 8. 自動運転バスや自動運転タクシー	調査票にはイメージ図を付けます。市民が求める先進的な公共交通サービスのニーズを把握し、方策検討に活用するため。
	51. 公共交通に対する村の財政負担について、感覚として最も近いものを教えてください。	単一	1. 公共交通サービスが充実するのであれば、財政負担の増加は仕方がない 2. 財政負担・交通サービス水準ともに現状のままでよい 3. 公共交通サービスを縮小して、財政負担を減少した方がよい 4. わからない	
回答者属性	52. あなたの性別を教えてください。	単一	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない	
	53. あなたの年代を教えてください。	単一	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60~64歳 7. 65~69歳 8. 70~74歳 9. 75~79歳 10. 80歳以上	年代別集計に活用するため
	54. あなたのお住まいの地域を教えてください。	単一	1. 鳴沢地域(国道沿い) 2. 鳴沢地域(別荘地区) 3. 大田和地域	地域別集計に活用するため
	55. あなたのご職業を教えてください。	単一	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業(農家等含む) 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦(夫) 5. 無職(年金生活含む) 6. 高校生 7. 大学・短大・専門学校生 8. その他( )	
	56. 世帯人数を教えてください。	単一	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	特に高齢単身者の集計に活用するため
	57. 普段、行政情報を得る際の媒体を教えてください。	複数	1. 村の広報誌 2. 村のホームページ 3. チラシ 4. ポスター 5. 回覧板 6. 家族や友人から聞く 7. その他( )	周知・利用促進策の検討に活用する。
	58. あなたは自動車運転免許をお持ちですか。	単一	1. 持っている 2. 返納した 3. 持っていない(失効等を含む)	
	59. 【免許をお持ちの方のみ回答】 運転免許の返納意向について教えてください。	単一	1. 運転に不安があり、近いうち(5年以内)に返納する予定である 2. 運転に不安があるが、移動が不便になるため、今のところ返納は考えていない 3. 不自由なく運転できるため、今のところ返納は考えていない	
	60. 【免許をお持ちの方のみ回答】 普段の運転頻度について教えてください。	単一	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんど運転しない	
61. 【運転する方のみ回答】 日常生活において、無理なく運転できる時間はどれくらいですか。(片道の時間でお考えください)	単一	1. 10分未満 2. 10~29分 3. 30~59分 4. 60~89分 5. 90~119分 6. 120分以上	特に高齢者の方の運転の負担を把握して、公共交通の必要性を整理したいです。	

## 2 . 公共交通利用者アンケート調査

### 2 - 1 実施概要

路線バス利用者を対象に、利用状況（乗降バス停、利用目的、利用頻度、乗継状況など）や利用ニーズ（求める改善策など）のアンケート調査を行う。

調査方法は車内に調査票を2週間程度留め置きし、郵送回収での実施を想定する。

顕在化している利用ニーズ（利用されている理由等）を把握し、維持すべき公共交通サービスを整理する。

調査方法は、調査員がバスの乗り込み、村内で乗降した村民を対象に調査票を配布する（もしくは調査項目の聞き取りを行う）。

表 アンケート実施概要（案）

項目	概要
調査方法	次の2つの方法により調査を実施する。 車内留め置き配布、郵送回収 調査員による聞き取り(1日実施)
調査時期	令和8年1月のいずれか1日
調査対象	鳴沢村内のバス停で乗降する路線バス利用者
配布部数	200票
配布物	調査票 WEB 回答用コードを掲載 返信用封筒 返信用封筒に調査票を封入し、配布する。

### 2 - 2 調査項目

調査項目は下記のとおり。

表 利用者アンケート調査項目（案）

調査項目	把握項目(概要)
利用状況	・利用した路線名称、利用時間帯、乗降場所 ・往復利用の有無、利用目的、利用頻度 など
利用者から評価	・運行内容(ダイヤ、ルート等)に対する評価・改善意見 ・公共交通を利用するメリット など
回答者の属性	・性別、年齢、職業、居住地 ・運転免許の有無、自家用車の利用状況 など

## 2 - 3 スケジュール

スケジュールは下記のとおり。

表 スケジュール(案)

項目	期間
調査計画書・調査票の作成	～令和8年1月16日(金)
調査票の印刷・封入・発送	～令和8年1月22日(木)
<b>調査実施</b>	<b>留置き期間:</b> 令和8年1月23日(金)～令和8年2月2日(月) <b>乗り込み調査:</b> 令和8年1月30日(金)頃 予定
回答締切	令和8年2月2日(月)
集計・とりまとめ	令和8年2月20日(金)まで

## 2 - 4 配布物

本調査では、下表の2種類の印刷物を作成、下表に示す に を封入した上で、留置き・配布する。

表 配布物の概要

項目	内容
返信用封筒	長型3号サイズ
アンケート調査票	A4サイズ、白黒、4ページ程度 WEB回答用コードを記載

## 2-5 設問設定(案)

設問案は次のとおり。

設問		区分	選択肢	備考
個人属性	1. あなたの性別を教えてください。	単一	1.男性 2.女性 3.回答しない	
	2. あなたの年齢を教えてください。	単一	1.19歳以下 2.20歳代 3.30歳代 4.40歳代 5.50歳代 6.60～64歳 7.65～69歳 8.70～74歳 9.75～79歳 10.80歳以上	
	3. あなたのご職業を教えてください。	単一	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業(農家等含む) 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦(夫) 5. 無職(年金生活含む) 6. 高校生 7. 大学・短大・専門学校生 8. その他( )	
	4. お住まいの地域を教えてください。	単一	1. 鳴沢村内 具体的な地域名を記入( ) 2. 村外 具体的な自治体名を記入( )	
	5. 【村民のみ回答】 自宅を出てから一つ目に利用するバス停までのおおよその距離を教えてください。	単一	1.徒歩5分未満 2.徒歩5～9分 3.徒歩10～14分 4.徒歩15分以上	
	6. 世帯人数を教えてください。	単一	1.1人 2.2人 3.3人以上	
	7. あなたは自動車の運転免許をお持ちですか。	単一	1. 持っている 2. 返納した 3.持っていない(失効等を含む)	
	8. 【免許をお持ちの方のみ回答】 普段の運転について教えてください。	単一	1. 週5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんど運転しない	
	9. 普段の日常生活で、スマートフォンやタブレット端末を使って、何かの調べものや乗換検索などを行う機会はありますか。	単一	1. 日常的に利用している 2. たまに利用している 3. ほとんど使わない 4. スマートフォンを持っていない	
利用状況	10. 調査票を受け取った日に利用した路線バスの利用頻度を教えてください。	単一	週5日以上 2.週に4～5日 3.週に2～3日 4.週に1日 5.月に数日 6.年に数日未満 7.初めて利用した	
	11. 調査票を受け取った日の行きの利用区間を教えてください。	単一 記入	乗車バス停( ) 降車バス停( )	
	12. 路線バスの往復利用状況について教えてください。(予定も含む)	単一	1.往復で利用する 2.行きのみ利用する 3.帰りのみ利用する	
	13. 【往復で利用していない方のみ回答】 もう片方の交通手段を教えてください。	単一	1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4.自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 他の路線バス 8.一般タクシー 9. その他( )	
	14. 【往復で利用していない方のみ回答】 往復で利用しない理由を教えてください。	複数	1.時間にあう便がないから 2.送迎してもらってから 3.目的地が複数あるから 4.乗り継ぎが不便だから 5.他の交通手段があるから 6.交通費がかかるから 7.その他( )	
	15. バスを利用した時間帯を教えてください。(予定含む)	単一 記入	【行き】大体 時台 【帰り】大体 時台	
	16. 今回のバスの利用目的を教えてください。	複数	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物(日用品) 5.買い物(衣服や家電等) 6. 飲食 7. 地域の集まりなど 8. レジャー 9. その他(具体的に記入)	
	17. 今回のお出かけの最終的な目的地を教えてください。	単一 記入	1.鳴沢村内(具体の施設名: ) 2.村外(具体の施設名または地域名: )	
	18. 路線バス利用前後の主な交通手段を教えてください。	単一	【乗車前】 1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4.自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 他の路線バス 8.一般タクシー 9. その他( )  【降車後】 1. 徒歩 2. 自転車 3. 原付・バイク 4.自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族・知人等による送迎) 6. 鉄道 7. 他の路線バス 8.一般タクシー 9. その他( )	

設問		区分	選択肢	備考
	19. 公共交通を乗り継いで利用しなければならない場合、あなたが重視することを教えてください。	3つまで選択	1. 早く目的地に到着できること 2. 運賃が高くないこと 3. 乗り継ぎ地点での待ち時間が短いこと 4. 乗り継ぎ地点にベンチや上屋があり、暖かい場所で待てること 5. 乗り継ぎ地点の周辺に飲食店やコンビニ等があり、時間をつぶせること 6. 案内(時刻表・路線図等)が充実しており、自分が乗り継ぐ公共交通がわかりやすいこと 7. スマホアプリやWEB上で、乗り継ぎ経路の検索がしやすいこと 8. 乗り降りしやすい車両であること 9. その他( )	
意見	20. 今後も路線バスを利用し続けるために重要だと思う項目を教えてください。	3つまで選択	1.早朝時間帯の運行本数 2.日中時間帯の運行本数 3.夕方以降の運行本数 4.始発便の時間 5.最終便の時間 6.自宅～バス停間の距離 7.運賃設定、割引制度 8.乗り継ぎの待ち時間	
	21. あなたが路線バスを利用する上でメリットだと思うことを教えてください。	複数	1.移動時間を有効活用できる 2.自家用車を持つよりも経済的 3.定時性が確保されている 4.駐車場の心配がない 5.交通事故のリスクが少ない 6.環境にやさしい(乗合のため排出ガス低減につながる) 7.その他( )	利用促進時に活用する。